

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	リハビリテーション概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	301
担 当 教 員	高田 秀志	実務経験とその関連資格	理学療法士として回復期病院やデイサービス等で地域医療に従事。福祉住環境コーディネータ2級取得。地域医療政策講座にて医科学修士を取得。			
《授業科目における学習内容》						
リハビリテーションの理念と基本原理、障がい論、チーム医療などについて学ぶ。また、リハビリテーションに関する各論の基礎となる知識を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
授業態度、課題レポート、筆記試験の総合評価とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料 参考図書:リハビリテーション概論 医歯薬出版						
《授業外における学習方法》						
教科書等を用いて講義内容の予習・復習をする。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書等の忘れ物に注意し、課題の提出期限も厳守すること。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの概念・理念・定義について説明できる		テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションの概念・理念・定義			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康・疾病・障害について説明できる		テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	健康と障害の概念と分類			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害の心理や家族心理、障害受容について説明できる		テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障害の心理的・社会的視点			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーション過程とリハビリテーションの諸段階について説明できる		テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション過程とリハビリテーションの諸段階			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリ専門職やチーム医療について説明できる		テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	チームアプローチ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	ADL,IADL,QOLについて説明できる	テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ADL,QOLの概念と評価法		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域リハビリテーションと社会資源、在宅ケア、医療・福祉制度について説明できる	テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	地域リハビリテーションと社会資源、医療・福祉制度		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者対策・健康対策・少子化対策について説明できる	テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	高齢者・健康対策と少子化対策		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			